

1 研究主題

主体的に学び、考えを深め合える子どもの育成
～ICTの日常的・効果的な活動を通して～

2 研究の具体

昨年度まで支援を必要とする子どもたちにも焦点を当てて研究を進め、授業における有効な支援の一つに、ICTの活用があることが分かった。児童は端末の使い方に慣れ、学習意欲は向上したが、授業中における話し合い活動やプレゼンテーション技能には課題があり、個別の学びと協働的な学びの一体化までには至っていないことが分かった。そこで、本年度はICTを活用し、「主体的に学び、考えを深める子どもの育成」を図っていく。

●日常的・効果的に活用するために●

- 授業の中で学びを深めるICT活用の工夫・・・個人・グループ学習、発表会、話し合い、ドリル練習
- 児童のICTスキル向上を目指した常時活動の充実・・・タイピング、委員会・クラブ活動、家庭学習
- 教職員のICTスキル向上を目指した職員研修の推進・・・校内授業参観・検討会、教職員による情報交換会

◇ICTを活用した授業実践◇

4年 国語科



「手紙で感謝の気持ちを伝えよう」

お礼の手紙の下書きを推敲し、自分や友だちの手紙を、感謝の気持ちが伝わるように観点に沿って見直す学習

- ・タブレット上で修正
- ・協働編集機能の活用
- ・チェックシートを活用

6年 体育科

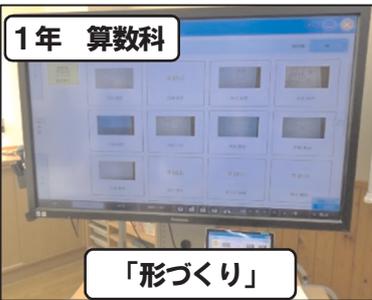


「マット運動」

マット運動の行い方を理解するとともに、回転系や技巧系の基本的な技を安定して行うことや、その発展技に取り組む学習

- ・画面動作解析アプリで比較
- ・QRコードでいつでも確認
- ・撮影した動画を共有

1年 算数科



「形づくり」

色板や数え棒などを使って様々な形をつくる活動を通して、図形を観察し構成する力を身に付ける学習

- ・考えの全体共有
- ・対話の目的の明確化
- ・アナログとデジタルのバランス

◇ノー ICT ウィーク（電子黒板やタブレットを使用しない）児童の感想◇

アナログの良さ

- ・自分の教科書をしっかり読めた。
- ・一つのことに集中できた。
- ・話を聞いて、自分の頭で想像することができた。

デジタルの良さ

- ・電子黒板で今勉強していることがよく分かる。
- ・AIドリルで何度も復習できる。
- ・図や写真、動画などで内容が分かりやすい。

山小漢字・計算テスト
90点以上達成率

R4 90.7%

↓

R5 **92.9%**

3 研究の検証及び改善の手立て

○ICTを積極的に活用することに重きを置いて取り組んできたため、多様な活用ができるようになった。また、発表や話し合いにICTを活用することで対話を生み、学びが深まっている。

△授業実践を通し、ICTをどのように、どこまで活用するかという課題が出てきた。教科や単元内容によって、「デジタル」が良いとき、「アナログ」が良いときがある。学年や学級の実態にも合わせながら、双方のバランスを考えた実践に取り組んでいきたい。